

430MHz、運用について、最終まとめ、その1

430MHz、ssbについては、今まで色々書いて来ましたが、ご理解頂けたでしょうか？ さて、このコーナーも、いよいよ終わりに近づき、筆者としてネタが切れて来ました。今までの事を思い出し乍ら、肝心の運用について、まとめて見ましょう。まずは、電波の性質上、直進性が強く、反射にも強いと言う事で、見通し距離的な運用を考えて、運用には最低限何が必要か？ 一番に無線機が挙げられます、その無線機を働かせる為の2番目に必要な物は電源です。3番目にアンテナで、無線機からアンテナ迄つなぐ同軸ケーブルが4番目、アンテナを取り付ける為の機材が5番目として、一応ここまで、絞って於きましょう。

一番目に上げた無線機ですが、目標に依って違って来ます。電波を出すモードですが、FM、ssb、CW、他デジタル系のモードを含めた、オールモードの無線機も有ります。そして、車からの運用、それとも、家の中から、その目的に依って無線機も変わって来ます。車から手軽にFMでのお友達同士のオシャベリだけ、もっと手軽に散歩に出かけた時、歩きながら、お友達とおしゃべり、それなら、無線機も車に取り付けできるハンディー機が有ります。モバイル機として、必要に成るのは車にアンテナを取り付けできる機材として、ルーフ基台やマグネット基台、これらには同軸ケーブルが付属されている物が一般的で、車に取り付けさえ出来れば、モバイルアンテナが取り付け出来ます。電源は車のバッテリー、12Vからつなげば良いでしょう、ハンディー機なら、ハンディー機本体にアンテナが付いて居ますが、そのアンテナを外して車に取り付けたアンテナのケーブルをハンディー機につなぐ事も出来ます。その方が電波も良く飛ぶでしょう。これで、車からの運用は出来るのですが、お友達とだけのオシャベリでは、スグに飽きて来るでしょう。そこで、同じアマチュア無線を楽しまれて居る不特定の局との交信も望むならアンテナも、もっとゲインの有る物を取り付け、無線機もFMだけのモードでは無く、オールモードの無線機が良いでしょう。只、FMモードだけでも、不特定の無線局との交信も可能ですが、先々を考えれば、オールモードの無線機が、良いTでしょう。

車で出かけて、チョットした高台に上がり、不特定の局を呼び出せば、予想外の離れた地域の局とつながり驚くでしょう。こういった運用方法を移動運用と言います。車に取り付けたアンテナもホイップアンテナでは無く、指向性の有る八木アンテナを車に取り付ける方法も考えて見ては如何でしょう？ そうすれば、もっと遠くに電波は飛ぶ筈です。また、電波のモードもFMだけでは無く、ssbモードや、CWモードに運用を広げれば、おなじ430MHzでも、違った世界が見えて来ます。今度は、車からでは無く、家の中(常置場所)又は固定とも言いますが、先程車から・・・と書きましたが、車に取り付けた無線機を外して、家の中に持ち込んでも構いません。今度は電源のバッテリーを家の中迄は持ち込めないでしょう？ そこで、商用電源AC100VからDC12, 8Vに変換する、AC-DC安定化電源が必要に成ります。(12, 8Vと書いたのは電源器は15V位まで可変出来ます) お子使いに余裕が有れば、無線機もオールモードの固定器を買って下さい。そして、アンテナを取り付ける方法を考えましょう。余裕が有れば自立のタワー、予算が足りなければ、屋根の上にルーフタワー成る物も有ります。もっと予算が無ければベランダや窓枠にマグネット基台をくっつけて、モバイルホイップのアンテナでも電波は出せますが、折角の固定局ですから、せめて、GPのアンテナ位は揚げたいですね、次回は、アンテナの違いで電波の飛びの違いを知る事に成ります。